

令和5年度 各課プログラム								
プログラム No.	目的	目標	実施事項	管理項目	本プログラムを選択した理由	継続・改定等の理由	継続・改定・新規	主管課
1	プラスチックごみの分別やリサイクルを推進し、廃棄物の量を削減する	リサイクル率を本庁舎は95%以上、その他は90%以上とする	・分別と資源化の徹底 ・廃棄物分別ガイド紙のリサイクル表を、ゴミ箱やリサイクルボックスの周辺に針、周知する ・個人こみの持帰りの徹底	廃棄物の計測によるリサイクル率の測定	環境負荷低減への取り組み成果の指針として採用。	長年続けて測定し、経年変化を確認するため継続。	継続	全課
2	電気の使用削減	全体で過去5年の平均値以下にする	【使用量の管理、公表及び周知について】 ・毎月の使用量を本庁舎及び施設担当課より報告を受ける。 ・報告内容は庁内掲示板で公表し、結果に沿った呼びかけを行う。 【使用削減について】 ※使用削減の実施を徹底させるため、その設備、給湯器などの管理者が使用削減に関する貼紙などをして行うよう依頼する。 ・昼休み、残業時の不要な照明・電気機器類の電源OFF・パソコン未使用時の電源OFF、パソコンのディスプレイの明るさ(輝度)の調整等 ・コピー機の使用後のパワーセーブボタン押下 ・冷暖房設備の使用は、建物内の気温の確認を徹底し設定温度を守る。 【設備の更新について】 ・設備更新などの情報を施設管理担当課より収集するとともに、省エネタイプの機器導入を呼びかける。	各施設ごとの電力使用量	環境負荷低減への取り組み成果の指針として採用。	長年続けて測定し、経年変化を確認するため継続。	継続	全課
3	ガスの使用削減	全体で過去5年の平均値以下にする	【使用量の管理について】 ・毎月の使用量を本庁舎及び施設担当課より報告を受ける。 ・報告内容は庁内掲示板で公表し、結果に沿った呼びかけを行う。 【使用削減について】 ※使用削減の実施を徹底させるため、その設備、給湯器などの管理者が使用削減に関する貼紙などをして行うよう依頼する。 ・冷暖房設備の使用は、建物内の気温の確認を徹底し設定温度を守る。 ・給湯室の使用は最低限とし、使用後は給湯器を消す。 【設備の更新について】 ・設備更新などの情報を施設管理担当課より収集するとともに、省エネタイプの機器導入を呼びかける。	ガスの使用量	環境負荷低減への取り組み成果の指針として採用。	長年続けて測定し、経年変化を確認するため継続。	継続	全課
4	水道の使用削減	全体で過去5年の平均値以下にする	【使用量の管理について】 ・毎月の使用量を本庁舎及び施設担当課より報告を受ける。 ・報告内容は庁内掲示板で公表し、結果に沿った呼びかけを行う。 【使用削減について】 ・使用量の増加(前月及び前年度との比較において)が見られた場合は、施設管理担当課の協力を得て増加の原因を明らかにし、公表、呼びかけを行う。	水道の使用量	環境負荷低減への取り組み成果の指針として採用。	長年続けて測定し、経年変化を確認するため継続。	継続	全課
5	CO ₂ 排出量の削減	エコドライブを推進し、庁用車の燃費向上を図る	【使用量の管理について】 ・毎月の使用量を本庁舎及び施設担当課より報告を受ける。 ・報告内容は庁内掲示板で公表し、結果に沿った呼びかけを行う。	庁用車の燃費	環境負荷低減への取り組み成果の指針として採用。	長年続けて測定し、経年変化を確認するため継続。	継続	全課
6	グリーン購入	グリーン購入達成率100%	・毎月の物品等の購入における、グリーン購入対象品目の購入について各課から報告を受ける。 ・報告内容を集計し達成率を計測する。 ・集計結果の公表を行う。	グリーン購入達成率	2050年カーボンゼロを目指すうえで基本的な行動として、人や社会・環境に配慮した消費行動(倫理的消費(エシカル消費))を強力に促すひつようがあるため。		継続	全課
7	市民への啓発	議会報等で環境負荷・低減を呼びかけ、周知・啓発を図る。	議会報や定例会傍聴者資料に環境負荷・低減に関する呼びかけを印刷したり、議会事務局のカウンター利用し、周知・啓発を促す。	配布物に環境負荷・低減を呼びかける文言を印刷	配布物やカウンターを利用し、環境負荷・低減を呼びかけることで環境への周知・啓発ができるため。	昨年設定した目標については、おおむね安定して達成できた。今後はこの状態を維持継続していきたい。	継続	議会事務局
8	省資源	・紙の削減 ・待機電力の削減	①内部での打ち合わせ等のペーパーレス化 ②課内マイボトル普及100%を目指す	①→机上の整理整頓・紙の打ち合わせ回数管理 ②→マイボトル保有状況の確認	カーボンニュートラルの取り組み&脱炭素	①→打ち合せの回数が多く、すべての資料を印刷しているとは異なり紙資源を消費することになるため ②→マイボトルプラスチック問題から各自がペットボトルをマイボトルに変え、環境に対する意識を高める為	新規	企画経営課
9	省資源	印刷部数の適正化	各種説明資料、公表資料などの印刷部数の適正化を図り紙の使用量を削減する	毎月、総務課より紙の使用量の速報が示される。その数値を確認し、新しく持ち出した紙の量をチェックする	紙使用量は減少傾向にあるとは言え、財政課は紙資料の多い部署である。そのため、紙使用量の動向をチェックすることで、印刷部数の適正化に努めたい	ここ数年で各種業務の電子化などによる紙使用量の削減が達成されつつあるが、まだ見直しの余地は残されていると考えるため	継続	財政課
10	市民への啓発	日野市の環境キャラクターやごみ減量啓発キャラクター、「(ひのエコ)・SDGsの知名度を上げ、市民・事業者らの環境配慮への関心を高める。	広報、ホームページ、プレスリリース、記者会見等へエコマーク・エコアラ・ごみゼロマン、「ひのエコ」・SDGsロゴマークを積極的に登場させ、PRする。	広報、ホームページ、プレスリリース、記者会見等への環境キャラクターやごみ減量啓発キャラクター、「ひのエコ」・SDGsロゴマークの登場回数。	市民・事業者らの環境配慮への関心を高めることで、自ら進んで環境に配慮した行動を実践してもらうため。	環境配慮、ごみゼロの取り組みを啓発するためには、継続的に市民に発信していく必要があるため。	継続	市長公室
11	省エネ	多摩平の森ふれあい館全体のエネルギー使用量及びごみの排出量を抑える。	来館者へのごみの持ち帰り及び省エネルギーへの協力を引き続き呼びかけ、各施設の代表(NPO法人含む)が集まる毎月の館内連絡会にて前月のエネルギー使用量及びごみの排出量を確認し、共通の認識をもって目標に取り組む。	館内全体の電気・ガス使用量及び各施設からのごみの排出量	館全体のエネルギー使用量及びごみの排出量を抑えるため。来館者及び関係団体と協働しながら館全体で取り組む必要があるため。また館全体のエネルギー使用量及びごみの排出量を抑えることは、二酸化炭素排出量減少に直接的かつ効果的な取り組みであるため。	来館者数の増加や気候等の影響で電気、ガスの使用量が増加傾向にある中で、引き続きエネルギー使用量及びごみの排出量を抑えるよう来館者及び関係団体と協働しながら館全体で取り組む必要があるため。また館全体のエネルギー使用量及びごみの排出量を抑えることは、二酸化炭素排出量減少に直接的かつ効果的な取り組みであるため。	継続	平和と人権課
12	省エネ	電気の使用量削減	節電、不要照明等の消灯の徹底 所管施設へ節電の貼紙などで施設利用者へも周知	省エネ・省資源チェックリストによる実行確認	電気の使用量が多いため	日野市気候非常事態宣言(令和4年11月6日発出)を踏まえた設定による	新規	地域協議課
13	省資源	ペーパーレス会議、テレワーク等の推進による用紙印刷量の3%減(R4年度比)	ペーパーレス化を更に推進し進める。 ①各会議や研修等において無線PC利用推進 ②電子申請の利用推進 ③テレワーク端末の利用促進	情報政策課が支払を行っているプリンターの印刷量を利用し、令和4年度と比較する。	ペーパーレス化を推進することにより、業務の効率化や、環境への負担軽減、さらにはセキュリティ面において、重要情報の紛失等を防げるため。	令和4年度については、多くの申請を電子化することや会議のペーパーレス化並びにテレワーク端末の活用をしたことが出来た。ただ、各主管課とアライジングを実施する中で、地回等を取り扱う部署については、なかなか紙運用を脱却できていないため改善・提言を図り、前年度比-5%を目標とする。	継続	情報政策課

令和5年度 各課プログラム								
プログラム No.	目的	目標	実施事項	管理項目	本プログラムを選択した理由	継続・改定等の理由	継続・改定・新規	主管課
14	省資源	パソコン利用等によるペーパーレス会議の推進と併せて、課内における紙の使用量を削減すること	課内及び総務課主催の打合せや会議において、パソコン利用などによるペーパーレスで行うこと	平成30年度からの紙使用量を5%減らすことを目標とし、月末に使用数を確認、平成30年度時との比率をチェックする	総務課内でペーパーレス会議を推進しており、それをさらに推進していくため。	総務課内でペーパーレス会議が浸透しつつあるため、それをさらに浸透させるため	継続	総務課
15	省資源	パソコン利用等によるペーパーレス会議の推進と併せて、課内における紙の使用量を削減すること	課内及び総務課主催の打合せや会議において、パソコン利用などによるペーパーレスで行うこと	平成30年度からの紙使用量を5%減らすことを目標とし、月末に使用数を確認、平成30年度時との比率をチェックする	総務課内でペーパーレス会議を推進しており、それをさらに推進していくため。	総務課内でペーパーレス会議が浸透しつつあるため、それをさらに浸透させるため	継続	政策法務課
16	廃棄物削減	ゴミの分別を徹底し、再生可能な資源を増やす。	課内で目標を継続し、ゴミの分別について理解してもらい意識を高める。	定期的にゴミの分別ができていないかチェックを行い、間違っている場合は課内のスペースに周知し、私用のゴミの数を記録をする。	再生可能なエネルギー等の積極的な導入・活用を推進するために、ごみの分別に力を入れる	日野市気候非常事態宣言を受けて職員一同、二酸化炭素ゼロを目指して、更に意識を高める。	継続	職員課
17	省資源	職員が燃費向上を心がけた運転をする	①庁内掲示板にて燃費向上を促す(燃費のいい運転の仕方等) ②庁用車購入時に燃費を考慮する ③燃料利用量、走行距離の集計をする	各課集計を行い、利用状況の把握をする	庁用車の燃費を把握し、燃費向上促進を図ることと全庁的な環境配慮活動となるため	環境に配慮した庁用車は一部導入済みである。今後は環境に配慮した車の更なる導入や燃費向上の促進を行い、環境配慮への取り組みを進めていきたい。	継続	財産管理課
18	省エネ	カーボンマネジメント事業の推進	①本庁舎・市民会館空調、照明改修工事を完了に伴うフロア別電力測定によるCO2削減行動推進 ②カーボンマネジメント事業の普及活動 ③本庁舎・市民会館における電力監視装置の導入	・本庁舎・市民会館フロア別電力測定 ・環境政策課へ電力測定データを提供・周知協力 ・環境政策課へ電力測定データ取得集計方法を引き継ぎ ・CO2分科会でのPR ・市広域やホームページで事業実績PR	省エネ機器導入の取り組みによりCO2排出量削減、事業PRにより市内内外の環境意識の啓発につながるため。		継続	建築営繕課
19	(その他) 環境負荷低減の啓発 市所有施設における再生可能エネルギー等の積極的な導入・活用を推進	施設整備での省エネ・リサイクルを推進する	施設整備で以下の検討を行う ①LED照明、太陽光発電、節水型器具、その他省エネ機器の導入検討 ②再生材、残土利用の活用検討 ③緑化、多摩産材の活用検討	設計、工事案件ごとに検討状況を確認する。	公共施設での環境配慮を進めることで、市全体の環境意識の啓発につながる。	今後も継続することで、環境配慮を促し、付加低減を図っていくため。	継続	建築営繕課
20	省エネ	職場内の省エネルギー化を図る。	不要照明や冷暖房の消灯及び庁用車運転時等の省エネ運転を行う	省エネ省資源、エネルギー使用量集計表にて毎月の電気使用量燃料使用量の管理	職場環境の向上及び電気代、燃料代の削減等の実施成果が見込まれるため。	引き続き職員の意識を高めていくため	継続	防災安全課
21	省資源	コンビニ交付機での利用を促進し、利用率30%以上を維持する。申請書等の紙類の削減を目指す。	マイナンバーカードを利用したコンビニ交付について、広報・ホームページやリーフレット等により利便性を周知し利用率の向上を図る。	諸証明の発行について、コンビニ交付機での発行率を四半期ごとに計測する。	コンビニ交付機を利用することで、申請書の紙の消費削減につながる。また、それによって、紙類のごみの量が減り、二酸化炭素の削減にも繋がる。	令和4年度にマイナンバーカードの交付が大幅に増え、引き続きコンビニ交付の利用率を高めていくことが必要であると考えているため。	継続	市民窓口課
22	廃棄物削減	溶解処理文書の廃棄量が前年度を超えないように努める	・機密文書とそれ以外のものや再利用できるものの分別の徹底 ・集約印刷および両面印刷で紙の排出量の削減 ・打ち合わせ資料のデータ化による紙の削減	・排出量確認表に記入 ・実施月の月末までの合計量で紙の排出量削減ができたか比較確認する	日野市気候非常事態宣言を踏まえ、機密の紙の排出量削減の意識を高める	日野市気候非常事態宣言を踏まえ、二酸化炭素排出量ゼロを目指すための紙の排出量削減に対する意識の向上につながると考えられるため。	新規	七生支所
23	省資源	コピー用紙の年間使用量の削減に努める。	集約印刷及び両面印刷、裏紙印刷(課内資料のみ)を利用する。 月ごとのコピー用紙使用量の見える化を行う。 また、可能な限り印刷せずに電子データを活用するよう努める。	コピー用紙使用量	課税資料以外にもコピー用紙の使用量が多く、環境配慮の基本である紙の削減、不必要な紙の使用をなくするため。	課税業務の時期については、使用目標値を超えてしまうことがあったので、会計年度任用職員にも周知し、この目標を継続し、引き続き紙の削減を目指す	継続	市民税課
24	省資源	紙類を中心に資源の使用量・排出量を削減する。	業務で使用する資料等を出力する際、印刷前のプレビューを確認し、無駄な印刷をしないようにする。また、両面印刷やNアップ等を活用し、紙類の使用量削減を心がける。	排出量確認表により、紙類の排出量を計測し、排出量が前年度を上回らないよう心掛ける。	評価事務において、参照する資料等、紙類を多く使用するため、削減を目指す。	意識の定着を図るため今年度も継続して実施する。	継続	資産税課
25	廃棄物削減	リサイクル意識の向上、分別の徹底	廃棄物排出量と分別状況を月毎に確認し、職員に周知する。 分別ができていない場合は原因を調べ、改善策を講ずる。	排出量確認表	職員に対し分別状況や排出量を周知することで、地震の行動を見直し、リサイクル意識の向上につながるかと考えられるため。	令和4年度は可燃ごみ排出量が前年度に比べて減少傾向にあったが、量で見るとまだ追求できる余地があるため、継続する必要があるかと考えた。 また、気候非常事態宣言も踏まえ、ゼロカーボンシティを目指すには、より廃棄物削減に力を入れることが重要であると考えられる。	新規	納税課
26	(その他) 職場環境の改善	窓口サービス・事務効率の向上	印刷物・配布物の適正管理。必要分数の紙使用により、余剰分を出さない。 執務室内の整理、整頓をし不要となったものはリサイクルし、ワークスペースを確保する。	毎月末に実施確認	事務の適正化・効率化を図り、紙の使用量を削減することで、時間、空間、経済的な余裕を市民サービスの向上と環境負荷の低減につなげるため	継続して、印刷物の適正管理等を実行することで、ペーパーレス化、窓口サービスの向上と業務の効率化を推進するため	継続	保険年金課
27	省資源	職場内の省資源を図る。	ゴミの排出量削減、特に上質紙の削減に努める。	排出量確認表及び報告書にて管理。	当初の理由としては、令和2年度と比較して令和3年度はゴミの排出量が大幅に増えたことから、令和4年度より本プログラムを選択。	環境影響発表表より、最も環境に影響を及ぼしているのは「電気の使用」であるが、当該にて昼休みなどの不要時の消灯や離席時の電源管理は概ね実施しており、これ以上の削減は難しい。そのため、次に悪影響を及ぼすとされている「紙の消費」について、継続して目標を定め、省資源化への取組を図る。	新規	環境政策課
28	省エネ	公園環境の整備	道具、国内灯の修繕・撤去・更新	修繕計画に基づく適切な修繕・更新	よりよい公園内の環境整備のため 国内灯のLED化による環境負担の低減がみこめるため	引き続き道具・国内灯については修繕等の必要箇所があると考えられるため	継続	緑と清流課
29	省資源	庁用車の燃費向上	①タイヤの空気圧点検 ②エコ運転の実施 ③燃費の計測 ④前年度期の燃費と比較	②毎回のエコ運転の実施 ①②の実施翌月に達成状況を確認及び四半期毎に評価 ③四半期ごとに燃費の計測	一人一人がエコ運転を心がけ、車の空気圧を管理し、燃費向上に向け努力する事を目標にした	前年度に、前年度期の燃費を下回らないという目標を達成できない時期があり、今期も継続的にエコ運転を心掛け、目標達成を実現するため	継続	下水道課

令和5年度 各課プログラム									
プログラム No.	目的	目標	実施事項	管理項目	本プログラムを選択した理由	継続・改定等の理由	継続・改定・新規	主管課	
30	市民への啓発	第3次ごみゼロプラン数値目標を達成する。	市民に向けてより踏み込んだごみの減量の取り組みと協力を啓発する。	第3次ごみゼロプランに掲げた「令和8年度に1人1日あたりごみ量550g」に向けた啓発	第3次ごみゼロプランの目標達成のために、市民への啓発が最重要項目の一つであるため。	第3次ごみゼロプランの目標達成のために、市民への啓発が最重要項目の一つであるため。	継続	ごみゼロ推進課	
31	(その他) 自然環境の保全	プラスチックごみ等の河川へのごみの流を防ぎ、持続可能な社会を実現する	週1回(毎週金曜日)にグリーンセンター場内外の清掃を行う。	毎月末に実施確認	市内のごみは処理のために全てグリーンセンター敷地に集まってくる。河川に挟まれている環境であり、グリーンセンター場内外の清掃を実施することにより、海洋プラスチックごみ等の原因となる河川へのごみの流出を少しでも防くため。	プラスチック類資源化施設の見学等で、SDGs目標14「海の豊かさを守る」を啓発していることから、職員としても具体的に行動をしていくため	新規	施設課	
32	廃棄物削減	職員及び書類提出者に対する環境への意識付け	・地区計画の届出、ユニバーサルデザイン推進条例、まちづくり条例の手続き上の提出書類の必要部数について確認を十分に行う。 ・不要な書類は提出者へ返却し、今後は必要部数を事前に確認してもらうよう周知する。 ・裏紙を積極的に使用する。	・排出量確認表による紙面ゴミの計測	・頻度が高い事業の中でも、相対的に環境へ負荷を与えているものであったため ・課の業務の性質上、会議による資料等紙の消費量が多いため ・ペーパーレス推進のためコピー用紙の配布方法が変更されるなど、廃棄物の見直しが今一度必要だと判断したため	取り組みが意識されはじめているが、さらなる徹底を行い継続するとともに、今後は対象事務を拡大し、課としてさらに広く取り組むことにした	継続	都市計画課	
33	(その他) グリーン購入の推進	関係機関に対してグリーン購入を呼びかけ、グリーン購入率50%以上を維持する。	関係機関にグリーン購入の呼びかけ(年4回)(2機関＝公財東京都都市づくり公社、川辺堀之内土地区画整理組合)	グリーン購入の呼びかけとグリーン購入率の測定	関係機関へもグリーン購入を呼びかけることで、事業にかかる環境負荷を減らすため	グリーン購入率の目標をかかけ、グリーン購入の更なる推進を図るため	継続	区画整理課	
34	省資源	紙の使用量及び排出量削減	・コピー用紙の使用量を計測し、時期ごとの使用量変動を把握する。 ・コピー用紙の使用量を過去5年度の平均以下とする。 ・資料の電子化・電子申請の準備を進める。	・課内に毎月の使用量を周知する。 ・使用量の見える化。グラフ等で課内に掲示する。 ・紙の使用量を過去5年度の平均以下となるよう削減を課内に呼びかける。	業務の性質上、法改正等により紙を大量に使用する必要性が生じるため。 また、環境影響流出表の見直しにより、紙の消費が環境に与えるマイナス影響が大きいと考えられるため。	昨年度に上記内容を実施し、コピー用紙の使用量の一部削減につながったため。	継続	建築指導課	
35	省エネ	自転車利用の促進	・自転車を通2回以上利用することを目標とし、月8回以上の自転車利用を継続して実施する。 ・自転車利用促進により、自動車の利用を減らす。	自転車利用回数	・省エネ意識を向上させる。 ・自動車利用を減らし、環境への負荷を軽減させるため。	自動車を利用する機会が多いため、少しでも環境負荷を軽減させるため	継続	道路課	
36	(その他) 整理・整頓の推進	3S(整理・整頓・清掃)遂行による事務効率の改善を図り、働き方改革へと繋げていく。	・電子も含め、資料を精査し、不要なものは廃棄する。 ・年に1回以上合理的な備品配置を検討する。 ・定期的な清掃を実施する。	必要に応じて、少なくとも月1回、課全体で整理・整頓の時間を設ける。	本取り組みは、職場環境・事務効率を改善することが効果的と考えられるため。	昨年は一定の効果が見られたと考えるので継続して実施する。	継続	産業振興課	
37	廃棄物削減	イベント等における廃棄物の削減	イベント等で使用または配布するものをできるだけ簡素化し、発生したゴミ等の持ち帰りをを行う。	廃棄物排出量	アフターコロナ・ウィズコロナでのイベント開催が求められる昨今において、適切な資源活用のもとイベント運用を行うため。	日野市気候非常事態宣言の発令を踏まえ、廃棄物を最小限に抑えつつ運営を行うことにより、二酸化炭素削減と気候変動対策としての排出量削減を加速化するため。	継続	文化スポーツ課	
38	(その他) 緑の保全	農地の保全を図るため援農ボランティアを育成する	・「農の学校」を運営管理し、援農ボランティアを育成する ・「農の学校」修了後の援農ボランティアの活動記録を増やす	・「農の学校」の実習実施日、参加人数 ・「農の学校」修了後の援農ボランティア活動人数	日野の農地保全に効果的な取り組みであるため	「都市農業振興基本法」に基づき、農地の保全を維持、継続していくため	継続	都市農業振興課	
39	省資源	レジ袋(プラスチックごみ)削減のため、新聞紙エコバックの利用を促進する。	NPO法人市民サポートセンター日野が作成した新聞紙エコバックを、セゾーフーマーズセンターで野菜を購入した方にレジ袋の代わりとして配布する。	新聞紙エコバック配布枚数	レジ袋(プラスチックごみ)削減、SDGsの推進を図ることができるとため。	・NPO法人・市内福祉施設と連携している取り組みであり、環境保護事業の一環であるため。 ・SDGsの推進を図ることができるため。	継続	都市農業振興課	
40	省資源	毎月使用する紙の使用量を削減する。	毎月、紙の使用量削減目標を設定し、総務課から持つてくるコピー用紙の数量を毎月記録する。	毎月の紙の使用量(総務課から持ち出す紙の使用量)削減目標を達成できたかどうか。	裏紙利用の呼びかけ等を行い職員の意識を高まっているが、今後は継続する旨もあり、引き続き削減を徹底していくため。	業務の増加等により、紙の使用量も相対的に増える中で、省資源を継続的に課で一体となって実施する必要があるため。	継続	福祉政策課	
41	廃棄物削減	職員及び市民のエコに対する意識向上、職員各自のゴミの分別の徹底。	・実行担当責任者が分別状況等を確認し、分別ができていない場合は原因を究明し改善策を講ずる。その際朝礼等でも周知をする。 ・各自訪問時等に市民へごみの分別や気候非常事態宣言についての周知を行う。	・ゴミの排出時に、分別が行っているか目視による確認。 ・排出量確認表への記入管理。	課内においてゴミの分別の徹底は、仕事をすすめる上で基本的なことであるため。また市民へ周知することで市全体のエコに対する意識を高めることができるため。	課内においてゴミの分別の徹底は継続していかなければならないものであるため。 ・被保護世帯の増加により、市民に対する周知まで完全に行えていないため。	継続	生活福祉課	
42	省資源	多数の市民が集まる委員会や会議をオンライン会議とすることで、ペーパーレス化の推進および移動に伴う燃料を削減する。	多数の市民が集まる委員会や会議(自立支援協議会等)を原則オンライン会議で開催し、実施した回数を記録する。	オンライン会議を実施できた回数によって判断する。	紙の排出量削減や移動に伴う燃料の削減についての職員の意識を高めるため。	コロナ対策で一般化したオンライン会議であるが、課内での会議では十分に浸透したとは言いが切れない。オンライン会議は障害者の移動負担の軽減にも資するため、今後も継続していく必要があるため。	継続	障害福祉課	
43	廃棄物削減	廃棄物の排出削減	・廃棄物について月毎の排出量を確認し、前月比との増減について職員へ周知する。 ・前月より排出量が増加した月が3か月以上続いた場合にはエコマネジャーが適切な是正措置を行う。	廃棄物排出量	職員に月毎の具体的な排出量を周知し、廃棄物排出削減の取り組みを求めることで、環境意識の向上が期待できるため。	例年に引き続き取組を強化し進めていく。	継続	高齢福祉課	
44	廃棄物削減	廃棄物の排出削減	・廃棄物について月毎の排出量を確認し、前月比との増減について職員へ周知する。 ・前月より排出量が増加した月が3か月以上続いた場合にはエコマネジャーが適切な是正措置を行う。	廃棄物排出量	職員に月毎の具体的な排出量を周知し、廃棄物排出削減の取り組みを求めることで、環境意識の向上が期待できるため。	新設の課として、排出量の削減から意識的に取り組む。	新規	介護保険課	
45	省資源	コピー用紙使用枚数の削減	点検日を月1回設定し、担当がチェックする	コピー用紙使用枚数の削減	ペーパーレス化や裏紙使用への意識付けのため	R4自転車利用促進については、おおむね達成できているため。	新規	健康課	

令和5年度 各課プログラム								
プログラム No.	目的	目標	実施事項	管理項目	本プログラムを選択した理由	継続・改定等の理由	継続・ 改定・ 新規	主管課
46	省資源	紙の使用量を削減する	課の一人ひとりが可能な限り紙の削減を意識して業務を	総務課から支給される紙束 の数を管理する	当該の事業で一番消費する資 源が紙であるため	平成28年度より継続中、当該の 中で一番消費する資源が紙であ るため	継続	セーフティーネット コールセンター
47	省資源	紙使用量の削減	①所定の様式に用途別に支給された束の数を記載 ②毎月計測し、大幅な上昇がある場合、朝礼等で報告及 び啓発 ③紙の再利用（裏紙使用等）	使用した紙束の総数で判断 する。	ペーパーレス推進に伴い、個々 が改めて紙の使用量を把握し、 紙の削減意識を高めるため。	子育て課は他課と比べまだ紙の 使用量が多いことから、令和5 年度も引き続き紙使用量の削減 に努めるため。	継続	子育て課
48	廃棄物削減	可燃ごみ、プラスチックごみの削減	個人ごみ持ち帰りの徹底。 リサイクル可能な物を捨てないで工作等に積極的に活用 すること。注意喚起する。 適切な分別。 必要に応じた購入を心掛ける。過剰な在庫を抱えない。	排出量調査票	・プラスチックごみの分別を徹 底するため ・可燃ごみは引き続き排出量を 昨年度と比較し削減に対する 意識を高めるため	児童館では牛乳パックやペット ボトルなどを利用したリサイクル 工作を実施している。リサイクル にまよ、可燃ごみを削減し、幼 児の保護者や小学生などの利用者 にも啓発したいため。	継続	児童館共通
49	省エネ	保育園職員及び在園児全体で季節に応じたエコ活動を行う。	四半期ごとに実施項目を策定し、日常の保育活動の中で 身近なエコを実施していく。	各園のエコ活動の実施回数 とその内容	市民の方にも日野市の環境に 対する取り組みを認識してもら うため		継続	保育園共通 （保育課）
50	（その他） 業務改革・改善の推 進	入園のしおりの持ち帰りを必要最低限 にするよう、窓口で保護者に協力を呼 びかける。	入園のしおりを配布する際、兄弟用や予備用としての持 ち帰りはお断りし、「11世帯1部」配布の徹底を心掛ける。 また、市民相談窓口等のしおり設置場所にも両面徹底を 図る。	保育園入園のしおり配布部 数、実施状況	市民の方にも日野市の環境に 対する取り組みを認識してもら うため。	引き続き市民の方にも日野市の 環境に対する取り組みを認識し てもらうため。	継続	保育課
51	省エネ	自転車利用を促進し、庁用車の利用を 抑制する。	・自転車利用表に外出の際チェックする。 ・回数を計算し、成果が目わかるようにする。	表で回数を管理する。	訪問等で庁用車を使用して外 出することが多い職場であり、 環境への影響が大きいため。	車の利用が多い部署のため、自 転車を推進して、省エネにつ なげる。	新規	子ども家庭支援セン ター
52	省資源	伝票の手戻りを減らすことにより、各課 の紙の消費量削減及び事務の効率化を 図る。	間違いの多いケースや注意点を財務会計掲示板に掲 載し、簡単なテスト等を庁内掲示板で実施し、庁内研修を 行うことで、注意喚起する。 再提出の際、返却した伝票の付箋紙に主管課長又は係長 の確認印が必要とすることで、次回以降の決裁時に注意 してもらう。	手戻り件数を集計	伝票の手戻りを減らし、紙の消 費量削減及び事務の効率化を 進めることで、環境への負荷を 減らしていくことができると考 えるため。	手戻り数はやや減少傾向にある が、2020浦江に掲げていた 伝票手戻り率5%未満を達成で きており、今後も継続すること で、更なる改善が見込まれる と判断したため。	継続	会計課
53	省エネ	電気の使用量の削減に努める	①不要照明の消灯 ※窓口対応、残業を除く 交換便前を 忘れず ②機器の電源を切る ※プリンター5台・教育長室2つ、カ ラー、校務支援、ガールン、印刷機 ③毎週金曜日は18時まで退庁 ※学校による緊急対 応等を除く ④定期的に整理整頓 ※明るい場所でも業務ができるよう に	省エネ・省資源チェックリス トによる計測をおこなう。	環境影響洗出表の結果から「電 気の使用」の影響が大きいた め。	業務量が全体的に増えているた め、令和5年度も省エネで電気 の削減に取り組めます。各職員 が自信をもってできる項目と 、分かりやすい文言に変更し「で きた」という、モチベーション アップにつなげます。	継続	庶務課
54	省資源	コピー用紙使用量の削減	庁内の会議等の資料について、枚数・部数の適正化をは かり、裏紙利用や両面印刷を心がける。また、教育委員会 と学校間の通知等について、可能な限り校務支援システ ムを利用し紙の削減をする	省エネ・省資源チェックリス トによる「紙の使用量削減」課のテーマ」の実行 確認	紙の使用料・排気量が多く、一 人一人の資源削減への意識を もって取り組むことが大切だと 考えたため	継続して実行することで、常に 意識し一人一人の行動も定着さ せるため	継続	教育指導課
55	省資源	・節水・節電の意識をもって、適切な使 用量を継続する。 ・紙の再利用・適切な使用量・分別の 意識をもつ。	・保育中の手洗い、水道び等の水の使い方を定期的に園 児に指導する。 ・保育室の使用状況により、電気やエアコンの適切な使用 を促す。 ・製作や描画などで紙類を使用する際に無駄にしない意 識づけを行う。	・園児や保護者に「水や電 気を大切に」指導を定 期的に行う。 ・製作などの指導の際、無 駄な使い方について考えさ せる指導を行う。	SDGsという言葉が多く聞か れる中、園児も自分たちのやっ ていることがそけにつながつて いるということを字はさせる良 い機会と考えたため。	一部継続一部新規という内容。 継続についての理由は、毎年園 児の半数は人が入れ替わる。ま た職員も保育活動に専念してい る中で意識がいきにくくなるた め、定期的かつ継続的に意識 づけを行うことが適切及び有効 であると考えたため。新規につ いては、園児の活動で身近なも ので意識させることにより、身 につく内容であると考えたた め。	改定	幼稚園共通
56	省資源	コピー用紙の使用量を削減する。	庁内外の会議等で紙による資料を配布する際は、枚数・ 部数を最小限とするとともに両面印刷を心がける。 また、教育委員会と学校間の通知等について、可能な限 り校務支援システムを利用し紙の削減をする	・会議等で配布した資料の 残部数を確認する。 ・両面印刷の取組み状況を 把握する。	紙の使用量が多く更に一人一 人が意識して取り組み、課全体 の資源節約につながるよう取 り組むことを目標に選択した。	継続して実行することで、常に 意識し一人一人の行動も定着さ せるため。	継続	学務課
57	省エネ	教育センター施設全体の電気、ガス及 び水道使用量について削減を図る。	新型コロナウイルスの施設対応として換気や手洗いの励行しなが らも、室内温度の適正管理や空室、不在時のこまめな消 灯を実施	エネルギー使用量の把握と 前年度の比較による現状 分析と改善案検討	光熱水費削減のため	エネルギー使用量削減の取組み が、日野市気候非常事態宣言を 踏まえた地球温暖化対策として 環境負荷低減につながるため 継続していく。	継続	教育センター
58	省資源	紙の使用量の削減	・印刷の方法等を工夫し、紙の使用量を削減する。 ・再生紙を持ち出す際は、管理台帳に数量を記載する。	毎月管理台帳を確認し、使 用状況をチェックする。	Nアップや両面印刷の利用を徹 底すること等により、紙の使用 量を削減するため。	昨年度に引き続き、管理台帳で の管理継続をすることで紙の使 用量について確認することがで きるため。	継続	発達・教育支援課
59	省資源	ペーパーレス化	ゴミ分別の徹底を図り、紙印刷の抑制を意識して業務を行	プログラム推進管理票によ る評価	PC周辺機器の電力量減少にも 繋がり、紙資源の使用抑制によ り環境負荷の低減を図れたた め	日野市気候非常事態宣言を踏ま え、ペーパーレス化により、二 酸化炭素等の温室効果ガスの排 出量削減に繋がっていくため継続 としました。	継続	生涯学習課
60	市民への啓発	市民に対して日野市の環境方針等の周 知を図る。	公民館が発行する「公民館だより」、ホームページ、ツイッ ター、公民館内での掲示等で啓発を行う。	市の環境方針等の周知方 法として、公民館だよりへ の掲載、HP、ツイッターへ の投稿、館内各箇所「ひ のエコ」の取り組みを掲示 周知していく。	公民館だより、ホームページ、 ツイッター 公民館内での掲示 板等を利用して、広く啓発活 動を行うため。	既存の情報媒体の有用性を見直 し、市の環境に対する取り組み について広い世代に情報を届け られるようにするため。	継続	中央公民館
61	市民への啓発	環境に配慮したイベントや、市の環境に 対する取り組みを知る講座を開催す る。そして市民の方々に、共に環境に 配慮した行動の必要性をPRしていく。	イベント・講座の開催にあたり、参加団体や来場者を含め た環境配慮を行う。	環境に配慮したイベントや 講座を開催する。そして市 民の方々に、共に環境に 配慮した行動の必要性をP Rしていく。	令和3年度より、中央公民館は 多摩市公民館と連携した「たま 字びテラス構築広域連携事業」 を展開している。多摩市は「開 くに関する内容を大学の講師が 提供している。通常の主催講座 に加え、2市連携事業等で市民 の方や大学生に環境を学ぶ機 会を提供し、より深く環境に 対して考える機会を提供するた め。	市の環境に対する取り組みを、 字びを通して周知し、市民一人 一人に何が出来るのかを考え検 討していただく機会の創出を図 るため。	改定	中央公民館
62	廃棄物削減	除籍資料のリサイクル	除籍した資料を市民および市内施設に提供することによ って、リサイクルに取り組む。	リサイクル表（リサイクル冊 数/廃棄冊数）（年間目標 80%）	除籍資料をリサイクルすること によって、資料の再活用化にも なるため	今年度も引き続きリサイクルを 継続し、資料を有効活用するた め。	継続	図書館

令和5年度 各課プログラム								
プログラム No.	目的	目標	実施事項	管理項目	本プログラムを選択した理由	継続・改定等の理由	継続・ 改定・ 新規	主管課
63	市民への啓発	環境図書資料の展示	環境に関する図書資料を図書館全体で広く市民に提供する。	展示冊数	広く市民に環境図書資料に関心をもってもらうため。	環境図書資料の貸出増加につながっており、さらに市民へ環境問題への提起を行うため。	継続	図書館
64	省エネ	事務スペースの電気使用量の低減を図り、特に、エアコン使用量を管理する。	・こまめな節電活動とその活動の周知。 ・クールビズ・ウォームビズを徹底し、エアコンの使用をコントロールする。 ・感染症対策のためエアコンで常時喚起を行うが、「送風」を活用して電力削減を図る。 ・事務スペースは館内2ヶ所に分かれているが、通常時の勤務スペースに関わらず人数次第で1ヶ所に集合して使用スペースを縮小し、エアコンと照明の使用を抑制する。	冷房・暖房使用時期は、室温や入館者数を把握し、送風だけの時間を設けて電気使用量を削減する。職員と受付スタッフでエアコンの使用状況を共有するため、オンオフ時間管理表を用いる。 職員の出勤シフト、在籍状況を的確に把握することで、事務スペースを調整する。 令和4年度には歴史館開館日・入館者数がコロナ禍以前に比べて減少しているため、比較対象は前年度とする。	入館者数・開館日がコロナ禍以前に戻る中、常時換気などコロナ対策は継続しており、また課統合に伴う職員数・事務スペースの増加により消費電力量は増加の要因が多い。しかし職員数に応じた事務スペースの柔軟に変更・縮小など工夫次第で削減の余地もあり、活動内容を表示することで職員だけでなく来館者の節電意識、環境意識を高める啓発にもつながり、当館以外における節電・省エネにもつなげることができる。	令和4年度はコロナ禍前の開館日・入館者数に戻る中、電力使用量増の要因が多く、目標を達成できなかった。であればこそ、さらなる工夫により消費量の削減を図る必要があり、引き続き職員意識の向上と一般来館者への啓発のため継続する。	継続	ふるさと文化財課
65	省資源	物品の整理整頓を行い、適正な在庫管理・省資源を推進する。	・倉庫等に保管する物品の整理整頓を行うことで、分別によるリサイクル率の向上や適正な在庫管理を図る。 ・急な選挙の執行に備え物品の所在や数を明確にし、事務を効率化すると共に、購入する物品を最適化し省資源を推進する。	机上、キャビネット、個別フォルダ、選挙管理委員会事務局Nフォルダ、5F書庫、5F書庫・倉庫、小1あいホール倉庫ほか選挙用品を保管する倉庫。	選挙に使用する物品は多量であることから、物品の管理を適正に行うことで、環境改善につなげるため。	急な選挙への対応や、次回以降の選挙事務における環境への配慮を推進するため。	継続	選挙管理委員会事務局
66	省エネ	電気の使用量を削減する	1 電気機器等の使用管理 ・OA機器はセキュリティポリシーに基づく電源管理を行う(未使用時には電源を切る) ・昼休みなど、不要時は消灯する。 2 「省資源」の目標の一環として、事務局内で使用する書面の用紙は、裏紙を最優先に使用する。 ・昼休みなど、不要時は消灯する。	・長時間離席の場合、職員間で声掛けし、PCの電源を落としたか確認。 ・昼休みの照明の消灯実施について日々記録し確認する。(〇消灯できた×出来なかった)	環境影響洗出の結果から、環境に悪い影響を確実に削減できる項目である。	環境影響を洗い出した結果、最も環境に悪い影響を及ぼすのは、「紙の消費」であるが、当事務局の業務の性質上、総務課による紙の使用量制限を遵守するものの、それ以上の削減は現実的に難しいのが現状である。しかし、このたび「日野市気候非常事態宣言」が発出されたことを踏まえ、「少しでもできること」を実践するため、従前から行ってきたところではあるが、「裏紙の使用徹底」を「実施事項」に追加した。 当事務局としては、高い効果を見込める実現可能な対策は、引き続き「省エネ」であると判断した。	継続	監査委員事務局